



板橋ともゆき 市政レポート

2010

Itabashi Tomoyuki Report

vol.19

● 新郷の未来図を考える ●

(インフラの充実・広域的連携・地域力)



私もお陰様で市議会議員として7年目を迎え、議会人としても少しずつ経験を積ませて頂いております。多くの地域の皆様と交流させていただく中で新郷地区の未来図（目指す姿）とは何かを改めて考えてみました。

新郷地区の未来図

新郷地区を市の中心的存在にする必要はないと思っています。住民相互の繋がり(絆)があり“小さなおせっかい”(共助の精神)が培われた街でありたいと思っています。

そして、住宅、商店、作業所、農地等が共存でき、自動車がすれ違うだけの幅員の道路と段差の無い十分な歩道がある事。水害の心配がない事。市内平均的な公共施設からの行政サービスが受けられる事。教育や福祉の向上が図られる事で街全体の活性化

が増進し公共交通の発達と共に、行く末は軌道交通導入が現実味を帯びてくる様な街にしたいと考えています。

実現に向けて

これを実現するには、まず、インフラ整備の充実が必要不可欠であります。しかし、その前に鳩ヶ谷市との合併の如何が新郷地区には大きな分岐点である事も認識しなければなりません。これまでの飛び地のままか川口市の鳩ヶ谷地区と隣り合わせとなるかでエリアの考え方がまったく違って来るからです。鳩ヶ谷市との合併は長期的視点に立って考える必要があると私は考えています。

そして、合併とならなかった場合は、より一層の社会情勢に則したインフラ整備の戦略的充実策が必要になってくると思います。

更に、地理的に他の自治体(草加・足立区・鳩ヶ谷)と隣接している事を強みにする為の政策を創造する事が求められると考えます。例えば人の回流性を高め他の自治体から人を呼びこむ政策を検討する等、今後は広域行政の連携を課題としていきたいと思っています。

また、「地域力」が市(行政)を動かす最大の力になると私は考えています。

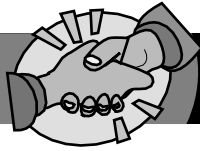
先住民と新住民がひとつになる事が私にとっての“地域力”です。

なぜ地域力が重要かと言うと大局的な要望であればあるほど多くの市民の総意となったものであるかどうか行政として取上げる重要な判断基準となるからです。

従って、先住民は新住民に対して小さなおせっかいを承知で一歩進んで声をかけ交流する事でコミュニティの醸成を図るべきと考えます。これにより地域力が育ち、市(行政)を動かす源になる(市政が身近になる)と考えるからです。

地域力を源として、広い視野から複合的な政策を実施していく事で新郷地区が少しずつ地域住民と時代の要求に応えた街になっていくのではなでしょうか。全知全能を傾注しこれらの事に取り組んでいく所存でありますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願いたします。

※実現に向けた具体的な政策提案は次回号でお知らせしたいと考えています。



川口市・鳩ヶ谷市任意合併協議会の設置



川口市と鳩ヶ谷市との合併については、一昨年11月の鳩ヶ谷市における川口市との合併を求める24,362人の市民署名活動と、同年12月の鳩ヶ谷市議会における「川口市との早期合併を望む決議」の採択を受け、昨年1月30日付けで鳩ヶ谷市から「合併協議の申し入れ」がなされていました。これを受け本市では、今年度から企画財政部内に合併担当職員を配置し、まずは結論ありきではなく原点に立ち戻って、合併に関する諸課題について検討して来ました。

こうした中、去る11月17日付けで鳩ヶ谷市より、合併の方式は編入合併とし、できるだけ早期の合併を目指すこととして「任意合併協議会設立の申し入れ」がなされました。

合併問題は県南地域の将来にも関わる大変重要な課題である事から鳩ヶ谷市からの申し入れを受け入れ、去る12月24日に任意の合併協議会が立ち上がり第1回目の会議が開かれました。議員はじめ各界各層の合計26名で構成されるこの協議会で、合併の是非も含めて議論がスタートしました。



市税税収確保対策本部の設置

本市の財政状況は大変厳しい状況にあり、自主財源の確保が急務となっています。

特に、福祉、教育、環境や都市基盤整備などの施策推進の貴重な財源である市税は、昨年来の経済不況もあって収入未済額が増加しており、いかに市税の確保を図っていくのかが喫緊の課題となっていました。

そこで去る10月13日に、市税収入の確保を目的として市税税収確保対策本部が設置されました。

これまで税の徴収については、管理職による未納者訪問を実施していましたが、今度は、歳入の確保はもとより、市政に関する市民の意見を直接お伺いする良い機会と捉え対象を管理職以外の職員まで広げ、市税の税収確保対策を実施する事となりました。既に、去る12月14日から職員による市税未納者への訪問活動を開始し、改めて市税の早期の納税をお願いし税収の確保に努めているところです。



出前市政報告会!

板橋ともゆきは、一人でも多くの市民の皆様にも市政の現状や課題をお伝えするため、出前市政報告会を行っています。「川口市政、市議会に言いたい事がある。」など、報告にとどまらず、ざっくばらんな市政について意見交換が出来ればと思っています。ご希望の方は、メールかFAXにてご連絡下さい。お待ちしております。



拉致問題を考える自治体フォーラム

去る10月31日、川口駅前市民ホール・フレンディアにおいて、本市と同様に、拉致被害者を抱える柏崎市、佐渡市、小浜市の各市の代表者と拉致被害者のご家族が一堂に会して、市民の皆さんなど約400人の参加者で、市町村としては初の試みとなるフォーラムが開催されました。

フォーラムの第1部では「拉致被害者の家族の訴え」として、本市出身の被害者、田口八重子さんのお兄さんで、拉致家族会代表の飯塚繁雄さんと、田口さんのお子息である飯塚耕一郎さんのお二人から、被害者に関する情報提供等、切実な訴えがなされました。

第2部では、「拉致被害者を抱える自治体の取り組みと今後」をテーマとして、岡村市長を含め4市の代表者によるパネルディスカッションが行われ現況報告と今後の取り組みについて意見交換がなされました。最後に、全力でこの問題の解決に取り組む決意を表明し、また、政府に対して拉致被害者全員の救出を求めるとともに、被害者の皆さんが元気で祖国の土を踏める時を待っているとする内容の共同宣言が採択されました。



川口市長へ要望活動



昨年、12月15日、地元本蓮、新堀両町会長と共に岡村市長の基へ地域要望を直接お願いしてきました。

昨年のゲリラ豪雨により新郷地区も各所で浸水被害が発生し市民生活を脅かしている事は皆様もご承知の通りです。

特に新郷東部公園より上流側の辰井川付近では、東部公園が暫定可動されているにも関わらずその効果が発揮されていないとの指摘から、新藤代議士のはからいにより新郷町会（10月）や本蓮町会（11月）を対象としそれぞれに説明会が実施されました。そこで、区画整理事業の進捗と共に辰井川上流の改修が進まない限りは根本的な解決には

至らない説明があった事に対し、様々な市政に対する要望や課題の意見が出されました。そこで、浸水被害の軽減策として浚渫工事を来年の雨季以前の早期に実施してもらいたいとの考えから市長へ直接要望する事となりました。市長からは、前向きなご返事を頂いたと認識しています。

“新郷ふれあい祭り”の収益金一部を寄付

昨年の11月22日開催した新郷ふれあい祭りでの収益金一部を社会福祉協議会に寄付を致しました。

今年も5回目の開催を目指して名誉会長（不詳私）も微力を尽して参りたいと考えています。



板橋ともゆき プロフィール



昭和36年11月4日 東本郷生まれ
 血液型：B型 中央工卒
 資格：宅建 2級建築士
 不動産コンサルティング技能登録者
 ファイナンシャルプランナー（AFP）
 平成15年市議初当選（3194票）
 平成19年市議2期目当選（3918票）

市議員に出来る事は何なりとご相談ください！



板橋ともゆき事務所

〒334-0063 川口市新堀 8 4 1 番地

TEL.048-281-5246 FAX.048-285-9644

e-mail itaba-fp@sainet.or.jp

携帯でサイトへ！

各社のバーコード対応機種で
 ご利用出来ます。



ご意見・ご要望を下さい！

市政全般について、板橋ともゆきについて等、どんなことでもかまいません。ざっくばらんなご意見・ご要望をお待ちしています！

F A X

送信用紙 **048-285-9644**

◆ご意見を記入して下さい。

フリガナ
 お名前

住所

電話番号

FAX 048-285-9644